

地域への理解を深めるPTA活動



10月

【大崎福祉
夢まつり】
昨年度、初めてブ
ース参加をしました。
古川支援学校の高等
部生徒の陶芸作品
やハートバッチの紹
介などを目的とし、
会場にいら
した方々
にお伝えしま
した。



8月



【七夕飾り
大作戦】

昨年度から子どもた
ちとPTAで七夕飾
り作りをして、「お
おさき古川まつり」
に出品しています。
家庭で飾り付け用
「花」と「短冊」を
作り、学校に持ち寄
り完成させました。

その他の主なPTA行事

5月 環境整備・こいのぼり大作戦 7月 七夕飾り制作
6月 PTA保護者懇談会（第1回） 11月 文化祭バザー・カフェ PTA保護者懇談会（第2回）

もっともっと理解を求めて

古川支援学校を卒業すると地域の一般企業に就職する人、または福祉事業所のサービスを利用し就業しながら工賃を頂く人、働くことが困難であっても創作活動や生産活動を行いながら施設で過ごす人など障がいの段階によって日中の生活場所を移すことになります。

今までは家族、学校、福祉関係者の皆さんなどに温かく見守られて生活できていたところから社会に出るということは障がいのあることを全く知らない人と接することも多かれ少なかれあることになります。例えば、公共交通機関を利用する時、お店などで買い物をする時何らかのこだわりがあり周囲の方から勘違いされたり、不審に思われたりすることがあると思います。本人たちは自立しようと一生懸命頑張っているのです。他の人にうまく表現できない、伝えられないことでたくさんつらい思いをしてくれています。私達保護者はそんな子供たちのために常に発信していくことを続けて行かなければと思っています。



保護者の悩みつぎやきコーナー



学校で中・高等部の
子供が入れる大きな
プールがほしい

母親が男の子と
プールに入る
時、着替える所
がない

卒業後どんなところ
に行けばいいの
か分からない

自力で通学したいけ
ど公共の手段がない

お店や図書館、病院など
で大声を出し
たり騒ぐので
困る

障がい者用トイレがな
いと親子一緒に入れな
いので出掛けることを
ためらう

大きくなって危険が分から
ないので手をつないでいる。人目
が気になる

◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

支援学校…というと、どんな子供たちがいるの？ なんだか近寄りにくい…そんなイメージを持たれることが多いかと思っています。少しでも知ってもらいたい！その思いで地域版を年に一度発行しています。

私達は周囲の方のご理解を願っておりますが、地域の方でも障がい等で不安なこと、聞いてみたいことなどがありましたら少しでもお力になりたいと思っております。この会報を通じてお互いの理解を深められたらうれしく思います。

